

6月29日～7月7日に行われ、やくも元気村が共催で関わった「八雲山車行列キャンプ村」の総括を大内さんにお聞きしています。

八雲山車行列40周年記念イベント「山車行列キャンプ村の総括」 大内陸久

今回イベント自体もそうでしたし、自分自身も初めての経験が大多数を占めていたキャンプ村、まずは成功してよかったなと思いました。

いままで小さなイベントにヲタ芸を通して演者としても運営としても関わることはあったのですが、このレベルの大規模なイベントにはほぼ幹部級の立ち位置で関わるのは初めてで、ワクワク半分不安半分の感じでした。

このイベントが八雲町に与えた影響はかなり大きいと感じていて、まずは八雲山車行列という八雲町の財産を全国のみならず世界に発信することができたと強く感じていて、八雲町民と外部の人が関わるいいきっかけになったと思うし、山車行列キャンプ村を通してまた八雲に来たいという方や移住したいと言ってくれる方がとても多く実際にこの1ヶ月の間に2,3組帰って来てペコレラの親子留学のボランティアとして活躍してくれました。

イベントの期間もボランティアスタッフの活躍は凄まじく僕自身も具体例を挙げるとするならば夫婦で参加してくださった方に音響の設定を手伝ってくださって、本祭前のイベントでは最高にいい音響環境で開催することができました。このように町外の人が楽しんで積極的に関わってくれることによって山車行列の新しい形がみえて来たなというふうに強く感じました。

来年もこのイベントをやるとして改善すべきポイントも多くあって最初に用意する予算が少なかった事。原因としては最初のイベントでどのくらいの規模のお金がかかるか曖昧だったというのがありますし、もっとやりくりできたはずの部分もあったので収支票を見直し無駄なところは削ぎ落としつつ予算を増やして対策する必要があると僕は考えます。

現場でも改善する点も多くあり会議も1ヶ月前までは特に進展がなく焦って突貫工事でやってしまったためメンバーが自分のやることをしっかり理解できておらずスムーズに進行ができていなかったなという印象でした。とりあえず今回は成功したので来年はこれをベースに早めに企画を進行しできるだけ穴を作らないように対策してより良いイベントを作っていきたいと思います。



山車行列40周年記念イベント「山車行列キャンプ村の感想」 細越海斗

夢を追いかけて八雲に移住をしたが、八雲のことは全然わからず。

徐々に八雲のことを知ってきた時、八雲の山車行列が今年40回目ということを知った！

なんて運命なんだろう、せっかくなら手伝いたいと思った時、キャンプ村という初めてのイベントが開催されることを知った！

なんぞやと思い聞いてみると、40周年という節目に全国からボランティアを募集して一つの山車を作るらしい。自分は青森出身なので山車（ねぶた）というものに聞き覚えはあったが、作ったことはない。

青森では、山車はプロに作ってもらいイメージだったのであまり作るというイメージはなかった。

初めて会う人たちと山車を作る。イメージはわからないけど、とにかく楽しそう！ドキドキしながらキャンプ村開催に向けて準備していた。

会議に参加してみたり、山車を作ってみたりと徐々にモチベーションが上がっていった。

ボランティア受け入れ前日、あまり実感が湧かずキャンプの設置作業。準備していても全然イメージがわからない。え、大丈夫かなと不安になっていた。ボランティア受け入れが始まり、徐々にボランティアの方々が八雲に。歓迎する立場の私たちは緊張していた。久しぶりの方々もいて、勇気を振り絞り、ボランティアの方々に自己紹介。話してみると、みなさん明るくてテンションが一緒！いいキャンプ村になりそうだ！みなさん、それぞれ話が弾み雰囲気が徐々に明るくなっていった。

最初は何個かグループがあり、それぞれ仲良くなっている感じだった。この方々だったら、一つのグループになれそうだなと胸を膨らませ山車作り開始！私は直接山車づくりに関わることができなかったので、今どういう状況なのかなと考えながら仕事をしつつ、みなさんに会える夜まで楽しみにしていた。

早く会って話を聞きたいな。今日の作業は楽しいのかな。とふと考えている。そして待ちに待ったが焚火が綺麗に見える時間に！キャンプ村をしているサランベ公園に行くと、笑い声が聞こえていた。前までは、緊張感があったのにもう仲が良い！

自分も今日一緒に作業したかった！ずるい！と思わず声に出してしまった。ボランティアの方々は山車行列を手伝いに来ていて、しかも山車を作って盛り上げようとしている。

祭りのおかげで、ボランティアの方々の目的がはっきりとし、一緒に目的でみんな動いているため仲良くなるのも早いし、雰囲気もいい感じ。すぐに祭りのいい影響力を感じた。

さらに盛り上がるんだろうな。キャンプ村が始まり何日か経ち、キャンプ村には計画していなかったダンスと曲ができていった。なんの事情も知らない私は、ボランティアの方々に聞いた。なんで！よさこいメンバーがダンスを作り、音楽に本気で取り組んでいたかっこいい先輩がテーマ曲を作ったらしい。その偶然の出会いってすごい！と感じた。

このダンスと曲によりさらにボランティアの方々の仲が深まっていった。混ぜりたいなあ。祭りの準備だけでなく、焚き火の時間もすごかった。

趣味や将来、自分の悩み相談も。ジャンルとしては全然統一感がなかったが、みなさん対話をしていた。自分が話して気持ちよくなることはあまりなく、相手の感情を引き出す、話し方や聞き方が本当に素敵だった。話に火が灯り綺麗な瞳から感情が溢れ出すことも。

毎日が素敵で祭りが終わらなければいいなと思ってしまう毎日だった。祭り本番。自分たちの山車、ダンス、曲を見せつけたい。盛り上げたい！が伝わってきた。みなさんに意気込みを聞いて一旦お別れ。夜は絶対参加します。町長の始まりの言葉で、一斉に山車が動き始めた。緊張感はなくただ楽しみ。子供の元気な声を聞きながら山車を引っ張りつつ、祭りの雰囲気を掴んで行った。町民の方々が注目するなか自信を持って、声を響かせた。本当に楽しかった！しかし、ボランティア組が気になる。子供達の山車を引っ張りながら町内を回った後、全速で向かった！早く皆さんと踊りたい！ボランティア組は元気に舞い、町民を巻き込む勢いで盛り上げていた。お邪魔します！

夜にボランティアの山車を見るととても出来栄が綺麗で見惚れてしまった。それと同時に盛り上がりも最高潮に！全然踊りがわからない状態だったが全然恥ずかしくない。そんな楽しい空間をボランティアの皆さんが作ってくれていた。いわゆる、馬鹿騒ぎ！とても楽しく、幸せでした！クールダウンの途中であったが、音楽は鳴り止まず。片手にお酒を持ちながらダンス！それぞれ肩を組んで乾杯をしていたり、ビールがけをしていたりとてもカオスな状況。誰も他の人からの評価や視線を気にしている人はいない。評価してしまう社会の中のオアシスのようにも感じた。日本ではなかなか感じられない雰囲気で、自分の殻を破ることができたかも！みなさんの達成感が自分にも伝わり、祭りとしての思い出を特別なものに変えてくれた！キャンプ村と祭りの雰囲気はこんな感じ。思い出すだけで、胸が熱くなる。本当に良かった！本当に素敵なボランティアの皆さんに会え、人との強い繋がり良さを感じた。

この出会いは一生ものだと思う。本当にこの出会いを大切にしていきたい。キャンプ村の環境はできるだけたくさんの人に関わっていただき、みなさんの一歩に繋がればいいなと思う。来年度も予定しているらしい。

イベント・バザー報告

■エコ広場(6/30)

昨年も参加させていただいた、エコ広場イベントが、今年は八雲山車行列キャンプ村とコラボし、2日間盛大に行われました。たくさんのキッチンカーも出店しており、会場ではステージ発表やワークショップなども開催され、大変盛り上がりました。八雲シンフォニーもバザーで参加させていただきました。今回は、利用者さんお手製の、ハンバーガーが大好評でした！！



7月10日ハスカップ収穫に参加

7月14日八雲高校学校祭バザー参加



利用状況について

2024年8月現在

○八雲シンフォニー
合計48名

○ぐるーぷほーむ"ホット"
合計16名(内サテライト2名)

○えがお
合計60名

シンフォニー公式LINEの開始(引き続きのお知らせ)

「元気村ジャーナルを月1回配信をしていきます」
公式LINEにて配信を考えておりますので、是非皆様ご登録の程よろしくお願ひ致します。
また、ホームページにも掲載致しますので、LINEをしていない方はそちらをご覧頂ければと思います。
※元々発行していた、元気村通信が元気村ジャーナルにリニューアルしました。



公式LINEのQRコード



HPのQRコード



ファインだより



2024年8月1日 第15号
NPO 法人やくも元気村

子どもたちが待ちに待った夏休みが始まりましたね！夏休み前から「〇〇に行くんだよ！」と家族とのお出かけを楽しみにしていました。この頃子どもたちは虫とりに夢中になり、自分より背が高く伸びた草原の中から「バッタとったー！」と笑顔で見せに来てくれます🐛虫とりなどの夏の風物詩をファインでもたくさん満喫できたらいいなと思います。



山車行列



公園



外活動

7月はじめの山車行列では、引き手を頑張りました。他の団体に出たみなさんもお疲れさまでした！子どもたちはたくさん虫とりをしているため捕まえ方が上手になり、大きなカマキリも捕まえました！虫について自分の知っていることを教え合い、みんなすっかり虫博士です！



寒天遊び



短冊作り

室内活動

風船バレー、寒天遊び、宝探しゲームなどを行いました。シンフォニーの利用者さんとの交流も慣れてきたのか緊張することなく言葉を交わす場面が増えてきました！寒天遊びでは、部屋を暗くして寒天に光を当て、見え方の変化を楽しんでいました🌟



体操「勇気100%」



かき氷作り



グミ作り



風船バレー



ナンバータッチ

おやつ作り

バナナケーキ、かき氷、アメリカンドッグ、グミ作りを行いました。かき氷作りの日は、とても暑い日がかき氷日和でした！味わいながら「うんめ〜！」と大喜びで食べていました🍌



バナナケーキ作り



8月の行事予定

9日(金) お誕生会

松岡謙汰さん
ギリ・ディブスさん
お誕生日おめでとうございませう！